

(イ) 課題番号2

課題分野： I	課題名：「水稻に代わる高収益性作物の導入」	
対象： 水田農業の担い手、奈良市農業研究会連合会	計画期間：H28～29	
	農林振興事務所名：北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
高収益性作物の導入	実証圃設置、巡回指導及び調査、事前検討会等の実施。	加工用キャベツ導入面積は110a→172.5aに拡大。

総合評価（コメント）
<p>A：5名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■農業法人の取組みが予定されていますので、関係機関が連携して取り組まれない。</li><li>■非常に重要な課題であり、これまで行ってきた活動の成果を活かし、継続的な活動を行って頂きたい。将来的には、特定の品目が地域で定着し農地の有効利用が図られることを期待したい。</li><li>■適切ではあるが、水稻に代わる作物への検討が今後必要ではないでしょうか。</li><li>■高収益作物の導入は、重要な取り組みであり、今後も奈良の特産になるような導入候補作物の検討を続けてほしい。</li><li>■新たな高収益作物の選定で試行錯誤は避けられない中、可能性のある加工用キャベツが見つかった。販路拡大のためには一定量の確保が必要とのことなので今後も農業法人等への導入の推進、栽培の省力化への取り組みを続けてほしい。</li></ul> <p>B：1名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■良い試みであるので継続してほしい。新規作物の導入は時間がかかるものと認識しています。販路開拓についての議論を活性化してください。</li></ul>

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"><li>■今後も水田の有効活用を図り、遊休農地の増加を防止するために、関係機関と連携しながら、集落営農組織や農業法人等への導入を推進する。また、作業の機械化による軽労化と労働時間の短縮を目指す。</li></ul>